

高収益作物次期作支援交付金に関する事業評価票

高収益作物次期作支援

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する 面積の現況面積 (令和4年度末) (a)		
青森県農業再生協議会	令和 3年度	現況116.2a ⇒目標116.2a	116.2	116.2	【藤崎町地区】 1. 切り花：次期作に向けて、アルストロメリアでは、消費者ニーズに即した新たな品種の計画的な導入を進めるとともに、産地で推奨する肥料・農薬の導入、作柄安定に向けて換気扇の導入を推進する。 【田舎館村地区】 1. 切り花：次期作に向けて、消費者ニーズに即した新たな品種（ストック：アイアンシリーズ、カルテットシリーズ）（ランキキュラス：ラックシリーズ、ポンポンシリーズ）を導入するとともに、産地で推奨する肥料（サカタ・液肥GB）・農薬（アグロカネショウ・ヨーバル）の導入及び利用を推進する。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。
遠野わさび生産者協議会	令和 3年度	現況111.4a ⇒目標111.4a	111.4	114.4	1. 野菜：次期作に向けて、無病苗や市場ニーズに即した品種を導入し品質・収量の向上や安定生産を図る。産地で推奨する包装資材の導入・利用を推進する。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。
いわて花と緑の普及協議会	令和 3年度	現況694.4a ⇒目標694.4a	694.4	694.4	1. 花き：次期作に向けて、実需者ニーズ等に即した新たな品種や地域で推奨する肥料・農薬等の導入など作柄安定に資する取組を推進する。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。
宮城県農業再生協議会	令和 3年度	現況1,409.3a ⇒目標1,409.3a	1,409.3	1,434.5	1. 花き（切り花）：次期作に向けて、産地で戦略的に推進する品目・品種の導入を進めるほか、肥料・農薬等の導入、灌水設備等の導入、土壌改良・排水対策の実施又は集出荷経費の削減に資する資材の導入等に係る取組の実施を進めた。 2. 野菜（つまもの類等）：次期作に向けて、産地で戦略的に推進する品目・品種の導入を進めるほか、肥料・農薬等の導入、灌水設備等の導入、土壌改良・排水対策の実施及び軽労化対策の導入等を進めた。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。
秋田なまはげ農業協同組合	令和 3年度	現況42.8a ⇒目標42.8a	42.8	42.8	1. 花き：菊、アルストロメリア、葉ぼたんの産地推奨の品種を導入するとともに、産地推奨の梱包資材（段ボール）の利用および土壌改良材の導入。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。
美郷町地域農業再生協議会	令和 3年度	現況132.0a ⇒目標132.0a	132.0	133.3	1. 花き：産地推奨の品種を導入し、安定生産のために加温装置、かん水装置の利用を促進するほか、産地で推奨する梱包資材を利用する。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。
横手市農業再生協議会	令和 3年度	現況81.0a ⇒目標81.0a	81.0	81.0	1. 花き：次期作に向けて、シンビジウム、カンパニュラ、ゆりでは、実需者ニーズに即した優良品種を導入するとともに、かん水装置を利用した十分な水分量確保による生育量確保、降雪、積雪のある冬期間にはボイラー等の加温装置利用による適切な温度管理を実施する。また、産地で戦略的に推進する有機質肥料の施用、薬剤散布等の防除により、生産者一体となった栽培管理を行い、品質保持を推進する。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。

事業実施主体名	事業実施年度	成果目標の内容	成果目標の達成状況		具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
			現況面積 (計画時) (a)	左記に相当する 面積の現況面積 (令和4年度末) (a)		
羽後町農業再生協議会	令和 3年度	現況92.05a ⇒目標92.05a	92.05	92.05	1. 花き：ランシユラス、キンギョソウ、ストックの次期作に向けて、実需者ニーズに即した品種を導入し、JA等で推奨する梱包資材を活用し、集出荷経費の削減に努めながら、推奨品目を栽培することにより生産性、品質向上を図る。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。
山形県農業再生協議会	令和 3年度	現況10,519.9a ⇒目標10,519.9a	10,519.9	10,337.3	1. 野菜：次期作に向けて、事業継続計画を策定して取り組んでいくほか、産地で推奨する栽培技術に対応した肥料・農薬等の導入・利用を推進するとともに、作業効率化・作柄安定等を図るため、農業機械の導入・利用を推進した。 2. 花き：次期作に向けて、実需者のニーズに即した品種を導入するとともに、安定生産のために加温装置、自動カーテン装置等の利用を推進した。また、市場が求める品質等に対応するよう、地域の取り決めによる厳選出荷に取り組んだ。	本事業は適切に実施されたが、目標未達成となった。これは取組実施者本人・同一経営家族の体調不良等により高収益作物の作付面積を縮小せざるを得なかったためであり、取組実施者の責めに帰さない事情であることから、成果目標達成に向けた事業実施主体への指導は行わないこととする。
会津坂下町担い手育成総合支援協議会（旧会津坂下町担い手育成総合支援協議会）	令和 3年度	現況122.2a ⇒目標122.2a	122.2	122.2	1. 花き：次期作に向けて、消費者ニーズに即した品種（トルコギキョウ・ストック・カスミソウ等）の導入を促進するとともに、安定的かつ高品質な花き生産のため、産地等が推奨する肥料・農薬使用を推進する。また、省力化に向け、かん水装置等を活用した栽培方式の確立を促進する。	成果目標を達成しており、事業による取組の成果が認められる。